

シルバー人材センターによる取組事例と工夫一覧表

1-1 就業開拓に関する工夫（福祉・家事援助・育児関連事業）

番号	名 称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<p>1) 福祉・家事援助・育児</p> <p>① 親子のひろば「のび〜すく旭町・青柳」 草加市の補助により、0～3歳児親子のつどいのひろばを旭町と青柳で2カ所運営。ひろばの中で、のび〜すく利用者を対象とした“のびママサポート”（一時預かり）を併せて実施。</p> <p><工夫している点> 近年の核家族化、少子化、近隣関係の希薄化により、子育てに対する不安や負担は重くなっているが、親子がいつでも自由に行け、安全で安心出来る居場所を提供できる場所となっている。このうち「のび〜すく青柳」は地元の大型スーパーマーケットの協力のもとテナント施設の一角に設けられたものであり、買い物や歯科医院に通院する際に利用しやすいという利用者のメリットがある。そこに子育て経験豊富なシルバー会員が子育てに悩む母親などをサポートすることで、地域の子育て支援と高齢者の就業機会の両立を図るという工夫が見られる。</p> <p>☞事例1「草加市シルバー人材センターの取組」（親子のひろばのび〜すく青柳）参照</p> <p>② ちょこっと手助けサービス 高齢者や障がいのある方の日常生活上のささやかな手助けをする“ちょこっと手助けサービス”を平成24年7月より実施。ご利用料金は、500円（1人・30分程度）</p>

		<p><工夫している点></p> <p>お買い物の代行や、簡単なお掃除、朝のゴミ出し、電球の交換など、ちょっとした手助けがほしい高齢者への手助けサービスとして「ちょこっと手助けサービス」を開始した。</p> <p>これは、一方で「草加市高齢者地域見守りネットワーク」へ協力する手段としても有効であり、シルバー会員の就業機会の提供と高齢者の地域見守りを同時に達成できるという工夫が見られる。</p> <p>☞事例1「草加市シルバー人材センターの取組」（ちょこっと手助けサービス）参照</p> <p>③生活援助（基本・継続）サービス</p> <p>共働き家庭・高齢者世帯等の希望に合わせた家事援助サービスや子育て世代の子どものお世話等のお手伝いを実施。</p> <p>④草加市認知症高年者家族やすらぎ支援</p> <p>やすらぎ支援員養成講座を受講した会員及び市民が認知症高年者のご家庭へ訪問して傾聴する“草加市認知症高年者家族やすらぎ支援事業”を草加市より受託。やすらぎ支援事業とは、認知症高年者を介護するご家族が外出時や介護疲れで休息が必要なときにやすらぎ支援員が高年者の居宅を訪問して、ご家族に代わって見守りや話相手になることでご家族の身体・精神・経済的負担の軽減を図ること、また認知症高年者の相談相手になることで、孤独感や不安の軽減により、在宅ケアの継続・向上を図っているサービスである。一回2時間までを限度として、週2回まで利用できる。</p> <p>2) 介護関連事業</p> <p>①訪問介護サービスなの花</p> <p>基準該当居宅サービス（訪問介護サービス）を実施。生活援助を中心に支援</p> <p>3) 独自事業</p> <p>①リフレッシュサイクル</p> <p>草加市より払下げされた自転車を修理しリサイクルして販売。修理も可。作業場は事務局の隣の建物</p> <p>②襖・障子張替</p>
--	--	---

		<p>襖・障子を張替、作業場は事務局に隣接</p> <p>③少人数学習教室 元小中学校教員や塾の講師等の会員による学習教室 ・小学生コース 国語・算数・英語（一部） 教室：手代町・旭町教室 ・中学生コース 数学・英語 教室：手代町・旭町教室</p> <p>④ヘアースタイルサービス 理容師資格のある会員によるヘアースタイルサービス。会員の福利厚生（会員対象）として実施</p> <p>⑤カルチャー教室 会員の特技を活かした各種カルチャー教室(水彩画・中国語・詩吟・写真・卓球・マクラメ編み・英語・パンづくり・毛筆細字)を実施</p>
2	福井市シルバー人材センター	<p>1) 介護保険事業</p> <p>①通所介護事業（日だまりの家） 要支援または要介護状態にある高齢者等に対して、デイサービスとして、日常生活の援助、口腔ケア、機能訓練サービス、入浴サービス、食事サービスなどを提供している。 ＜工夫している点＞ この拠点となる場所が「ひだまりの家」である。約二千坪の敷地に日本家屋と広い庭がある、閑静な環境でゆったり過ごせると利用者の好評を得ている。この不動産物件は自治体に物納されたものを借り受けたものである。高齢者が喜んで来るデイサービスとなっている点で工夫が見られる。</p> <p>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」（介護と子育て支援の拠点「日だまりの家」）参照</p> <p>2) 福祉・家事援助・育児</p> <p>① 高齢者宅、産前産後等の子育て中の家庭への家事サービス ② 子ども一時預かり事業(日だまりの家・えくぼ・のびのび) 当施設は安心して乳幼児を預けられるシルバーママサービスを行って</p>

		<p>る。子供を子育て経験が豊富なシルバー会員が一時的に預かることで、お母さんが上手にストレスを解消させる手助けをする子育て支援事業を行っている。</p> <p><工夫している点> 地域の子育て支援と高齢者の就業支援をうまく組み合わせる工夫が図られている。</p> <p>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(介護と子育て支援の拠点「日だまりの家」)参照</p> <p>③市の子育て支援、軽度生活支援事業の受託</p> <p>3) 独自事業</p> <p>①しめ縄製作・販売(しめ縄作業所)</p> <p>正月に飾るしめ縄を伝統的な事業として、「ひだまりの家」の別棟で行っている。</p> <p><工夫している点> 福井地方に伝わる作り方を伝授し、伝統を守ると共に、シルバーの独自事業の一環としてしめ縄作りを行っている。</p> <p>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「しめ縄作り」)参照</p> <p>②さをり織り教室、さをり織り作品の製作・販売(ワークプラザ)</p> <p>「さをり織り」では「機械のマネはしない」ということをスローガンとしており、均一・均質、パターン化されたものから抜け出す織物を自分で創造的に作り出すという教室である。常識や既成概念から離れ、自由な発想と視点を大切にする。心を「無」にして織るアート作品である。</p> <p><工夫している点> 趣味と実益を兼ねたオリジナルの織物であるが、この独自の手織り作品を作る教室を運営しており、機織り機の使い方や、折り方などの指導も行ってい</p>
--	--	---

		<p>る。高齢者の方の趣味と実益を兼ねた事業として工夫がなされた結果である。</p> <p>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「さをり織り教室」)参照</p> <p>③ 着付教室、着付出張サービス ④ パソコン教室 ⑤ 外国語教室(英語、中国語) ⑥ 牛乳パック再生による名刺等の作成・販売 ⑦ 不要品の委託販売 ⑧ 資源循環型農業講習会 ⑨ EM ボカシ(土壌改良剤)の製作・販売、カブト虫の養殖・販売、門松製作・販売、衣類のリホーム・寸法直し ⑩ フリーマーケットでの委託販売</p> <p><工夫している点> 商店街の空き店舗を活用することで、商店街の活性化を図ると同時に、不要品の処分と収益を還元することで事業を成り立たせ、同時に高齢者の就業支援と両立させている。</p> <p>☞事例2「福井市シルバー人材センターの取組」(多様な独自事業の展開「フリーマーケットでの委託販売」)参照</p>
3	上田地域シルバー人材センター	<p>1) 就業促進開拓運動 「会員一人一開拓運動」を進めている。その結果、95人が177件に及ぶ開拓の成果を挙げており、うち一人10件の開拓を行った会員を表彰。一般家庭の就業実績で前年度比111.4%(平成24年度対平成23年度)を記録した。</p> <p>2) 福祉・家事援助・育児分野での就業開拓</p> <p>① この分野に適性が高い女性会員の拡大をめざした活動に力を入れている。 ② J Aや社会福祉協議会と連携し、有償ボランティア連絡会を組織、連絡を取り合いながらコラボレーションを推進している。 ③ 地元自治体に協力し、認知症の傾聴ボランティアを実施しているが、将来的に</p>

		<p>はシルバー事業として実施する方針。</p> <p>④ 地元自治体の指定を受け障害者総合支援法に基づく重度生活支援事業を実施している。</p> <p>3) 独自事業</p> <p>① 事業としてしめ縄作りを実施。現在はしっかり定着し高い実績。</p> <p>② 着物のリフォームは女性会員活動の一つであるが、高齢化が進み、後継者不足の問題がある。</p> <p>③ シルバー農園の野菜生産物を商店街振興に協力した朝市へ出品したり、会員向けに朝市を開催、販売。</p> <p><工夫している点></p> <p>耕作放棄地を再活用するとともに農作業を基礎から教えて農業人口を増やそうとしている点、また更に耕作放棄地が発生するのは、農業の後継者が育たないからだという点から、子供体験教室を春、夏休みに開いて子供に農業を理解してもらうことで、将来の後継者を育てようという立派な目標を持っている。</p> <p>☞事例3「上田地域シルバー人材センターの取組」(シルバー農園)参照</p>
4	甲賀市シルバー人材センター	<p>1) 福祉・家事援助・育児</p> <p>福祉・家事援助・育児分野では市の事業（高齢者・障がい者安心生活支援事業）と連携を図り、高齢者・障がい者が地域や住まいで安心して日常生活が送れるよう1時間未満の軽易な家事援助サービスを実施。また、子育て支援分野では子育てが終わられた家庭で不要になった子育て用品（主に絵本、育児書、DVD等）を必要な家庭に無償で利用していただく子育て用品リサイクル、それから地域イベントでは昔遊びの伝承を目的とした育児支援を実施。</p> <p>2) 介護関連</p> <p>介護予防事業として健康体操教室、健康ウォーキングを実施。</p> <p>3) 独自事業</p> <p>① 剪定枝葉チップリサイクル堆肥の生産販売</p> <p>剪定作業で発生した膨大な量の枝葉を集積したものを、機械でチップ化し、発酵菌を混合し半年かけて熟成させ、堆肥を作成する。これを袋詰めして商品</p>

		<p>(商品名：コンポ水口 2000) 化し販売している。</p> <p><工夫している点></p> <p>剪定事業で不要となった剪定済枝葉を単にゴミとして捨てるのではなく、肥料として、再活用することで更に収益を上げようという点で良く工夫されている。</p> <p>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(剪定枝葉チップリサイクル) 参照</p> <p>② 甲賀野菜の栽培販売</p> <p>新鮮で安全・安心な農産物への需要は高く、生産者の顔の見える地元新鮮野菜に対して、消費者ニーズは年々高まっている。生産履歴がしっかりと記帳された野菜を甲賀野菜として、シンボルマークを付けて出荷することで、インパクトのある形で、消費者に届けられる様になっている。</p> <p><工夫している点></p> <p>シルバー世代の生きがい対策、就業拡大を目指して、耕作放棄地を活用すると共に従来の有機肥料の取り組みから、滋賀県の推奨する「環境こだわり農産物認証制度」(化学合成農薬および化学合成肥料の使用を現行の5割以下に削減し、周辺環境への負担軽減を図る制度)によって年間を通じて安定供給できるようにした。この四季まんてん甲賀野菜のブランド化で消費者の満足度も高い。このようにして生産されたブランド野菜は、地元直売所だけではなく、シルバーネットワークを使い、京阪神の市場への出荷を図っている。</p> <p>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</p> <p>③ 地域特産品「かんぴょう」の栽培販売</p> <p>休耕田等を利用して甲賀市の特産品である『かんぴょう』の原料となる夕顔を栽培、育った実を加工・天日干したものを製品として地域の方々に販売している。</p>
--	--	---

		<p><工夫している点> 衰退する地元産業の活性化と伝統産業の伝承に貢献すると共に高齢者の就業支援を行っている点は創意工夫点として十分に評価出来る。</p> <p>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</p> <p>④かんぴょうを原料としたゆうがお茶の販売 かんぴょうを原料としたゆうがお茶も生産・販売している。地元商工会女性部を離れ、新たに立ち上げた『ゆうがお會』が企画・製造する『ゆうがお茶』の原料として「かんぴょう」を提供する事で、地元の素材を活かした地元ブランドの普及に協力。</p> <p><工夫している点> 近隣シルバーとのネットワークを活かしてゆうがお茶の新たな販売ルートの拡大にも協力し、地元産業の活性化を図っている。</p> <p>☞事例4「甲賀市シルバー人材センターの取組」(四季まんてん甲賀野菜ブランド化推進事業) 参照</p> <p>⑤カサブランカ等花類栽培・販売 ⑥手作り布ぞうり製作・販売 ⑦古布を利用したリメイク手芸品製作・販売</p>
5	守口市シルバー人材センター	<p>1) 福祉・家事援助・育児</p> <p>①老健施設入居者の家族に代わっての衣類等の洗濯 介護老人保健施設と提携して、身寄りのない入居者など身の回りのことが出来ない方の衣類の洗濯、買い物、掃除などを担当する。</p> <p><工夫している点> 地域の介護老人福祉サービスの向上と共に高齢者の就業の機会を確保できる事業としての創意工夫が見られる。</p> <p>☞事例5「守口市シルバー人材センターの取組」(病弱者等福祉サービス) 参照</p>

		<p>②託児ルーム「ララキッズ」での一時保育事業 ③障害を持つ児童の学校行事でお世話をするスクールヘルパー事業</p> <p>2) 介護関連事業</p> <p>①介護保険事業の訪問介護 訪問介護サービスを提供している。ベテランの主婦が行っているため、調理などにも自信があり、非常に限られた食材しかない場合でも、何品も作って利用者に喜ばれている。 <工夫している点> 地域への介護サービスの提供と高齢者の就業機会の確保の両立を図れるように創意工夫をしている。</p> <p>☞事例5「守口市シルバー人材センターの取組」(訪問介護事業) 参照</p> <p>②障がい者総合支援事業での「居宅介護」「外出援助」</p> <p>3) 独自事業</p> <p>①パソコン教室 ②着付け教室 ③そろばん教室 ④おさらい教室</p>
6	伊丹市シルバー人材センター	<p>1) 福祉・家事援助・育児</p> <p>①みどり保育園の運営(月極、延長、一時預り、休日、体験の各保育) 認可外保育施設として月極保育事業を行っている。保育士資格をもつ12人を臨時・パート職員として採用。その他、保育にあたる会員12人、調理担当の会員4人、清掃担当の会員5人が就業している。子供の人数は0才から5才までの50人。利用者には隣接する市民病院勤務の看護師が含まれるが、夜勤、準夜勤の時は夜間保育、子供が病気の際は病児保育まで引き受けている。課題はコストであり、公的補助のある認可保育所の認可を目指している。 <工夫している点> 若い女性の社会進出を側面から支えることと同時に、高齢女性会員に適した仕事を見つけて組み合わせることを達成している。しかも会員の殆どが生きがいを</p>

		<p>感じているとのことである。</p> <p>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(保育園の運営) 参照</p> <p>②他保育所における保育補助 ③園児の送迎、子供の見守り ④夜間託児(病院関係) ⑤行事、会議等における子供の見守り ⑥保育所での保育サポート ⑦掃除(各部屋、風呂、トイレ、台所、換気扇、庭他)、片づけ、布団干し、敷地内除草、散水、洗濯、買い物、食事、食事介助、トイレ誘導、話し相手 ⑧ごみ当番、家具の移動、電球取替え等 ⑨高齢者の見守り、相談、サポート(市営住宅)</p> <p>2) 介護保険事業</p> <p>①シルバーデイサービスセンターの運営(通所介護、介護予防通所介護) ②介助、通院同行、見守り、話し相手 ③散歩(車いす)</p> <p>3) 独自事業</p> <p>①デイサービスセンター ②売店事業(昆陽池売店、スカイパーク売店) 伊丹市内の「昆陽池」公園内の売店で、公園を訪れる人たちに飲み物、菓子、アイスクリームなどを販売している。現在は女性会員が8名で運営している。また、大阪国際空港(伊丹空港)の隣接地公園スカイパークの売店でも女性が9人で運営している。</p> <p><工夫している点> 高齢女性の就業支援として適した仕事を斡旋していること、地域社会への貢献を実施していること。</p> <p>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(女性の就業機会の拡大) 参照</p>
--	--	--

		<p>③食堂運営(「シルポ大学」、「市立伊丹高校」) 大阪芸術大学短期大学部の喫茶および食堂、市立伊丹高校での食堂等学園内店舗の運営を行っている。シルポとはシルバーパワー (SILVER POWER) の略称である。</p> <p><工夫している点> シルバー世代と若い世代の交流をめざして世代間コミュニケーションを図り、かつ地域社会への浸透も図っていること。</p> <p>☞事例6「伊丹市シルバー人材センターの取組」(女性の就業機会の拡大)参照</p> <p>④自転車リサイクル事業 ⑤リサイクルショップ事業 ⑥チップ化事業 ⑦水彩画教室 ⑧子供英会話教室 ⑨成人英会話教室 ⑩琴教室 ⑪書道教室 ⑫着付教室 ⑬和裁教室 ⑭手内職 ⑮フラダンス教室 ⑯ウクレレ教室 ⑰三味線教室</p>
7	府中町シルバー人材センター	<p>1) 福祉・家事援助・育児 子育て支援事業(産後の家事支援)、ファミリーサポートセンターと連携した子育て支援(幼稚園、保育所、小学校などへの送迎、児童等の一時預かり)</p> <p>2) 介護関連</p>

		<p>①入会員の就業先の拡大のため、民間の教育機関等の受講を勧め介護分野の雇用の需要に応じるため平成11年度から高齢者のサテライト型のデイサービスを開始。</p> <p>②介護予防事業として平成13年度からシルバーサロンの利用者に高齢者の転倒防止教室を開始。</p> <p>3) 独自事業</p> <p>①シルバーママサービス（子どもの一時預かり）</p> <p>②ふれあい喫茶「椿庵」</p> <p>③介護予防体操「お達者クラブ」</p> <p>④町内イベント出店事業（祭り参加）</p>
--	--	--

1-2 就業開拓に関する工夫（企画提案事業等、自治体との連携）

番号	名 称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>① いきいき子育て応援事業（平成21年4月～平成24年3月） シルバーボランティア農園で保育園児等と農作物の植付や収穫する活動、また保育園でチューリップを保育園児と共に育てる活動を通して世代間の交流を深める事業。</p> <p>② 地域ささえあい生活援助サービス事業（平成21年4月～平成24年3月） 定期的に訪問する福祉・家事援助サービスを行う「生活ほっと支援サービスあしたば（現・生活援助継続サービス）」及び単発的・短期的に家庭内のお手伝いを行う「暮らし応援サービス（現・生活支援基本サービス）」を積極的に推進し、市民の生活を支援する事業。生活支援基本サービスは「換気扇・窓などのお掃除」「家事手伝い」「通院介助」「家具の移動」など一時的なサービスである。この他に継続サービス（週2回・1回2時間以上）では、「日常の家事お手</p>

		<p>伝い」「食事作り」「洗濯」「お掃除」「お買い物」等が依頼出来る。</p> <p>③ リフレッシュサイクル事業（平成 22 年 4 月～平成 25 年 3 月） 草加市より払下げを受けた放置自転車を分解して修理し、組み立てて販売（再利用）し、ゴミの減量化を進める事業。</p> <p>④ ちょっと手助けサービス事業（平成 24 年 4 月～平成 27 年 3 月） 65 歳以上の高齢者や障がいのある方のご家庭の、買物・お掃除・ごみ出し・電球交換等の日常生活上のささやかな手助けを通して、市民の生活を支援する事業。利用料金はワンコイン（30 分 500 円）で安価に依頼できる。利用例としては「お買い物」「簡単なお掃除」「植木の水やり」「朝のゴミ出し」「電球・蛍光灯の交換」等である。</p>
2	福井市シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①「特別支援教育推進事業」：修学前の発達障害児を対象に集団適応指導、一般対象のセミナーを開催</p> <p>②「中心市街地活性化事業」：駅前中心市街地の空き店舗を活用した高齢者が気軽に立ち寄れるサロンの運営</p>
3	上田地域シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①「遊休農地を活用した地産地消推進事業」 自治体と連携して平成 24 年度から実施している。平成 25 年度からは市民農園管理を受託し、市民の農業への取り組みを支援している。</p> <p>②こども体験教室 この事業は遊休荒廃農地を活用し、子供の収穫体験や農業教室により後継者育成を支援するとともに安心安全な地産地消運動の推進を図ることを目的としている。現在は子育て支援の一環としてこども体験教室を開始し、こどもを対象に地域に好評を得ており、毎年延べ 6～8 回開催。学校ではなかなか体験できない事業を意図的に加えることによって、子供たちも興味をもって積極的に参加。</p> <p>2) その他の連携</p> <p>①マレットゴルフ場（2ヶ所の指定管理を受注）</p> <p>②生活保護者への優先的就業斡旋</p>

4	甲賀市シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①四季まんてん甲賀野菜！ブランド化推進支援事業 地域の耕作放棄地や会員所有の畑を利用して、化学肥料や農薬を通常の半分以下に削減し、環境への負荷を削減する目的で栽培した環境こだわりの野菜を地域はもとよりシルバーネットワークを通じて都市部のセンター等で販売、栽培規模拡大、ブランド化推進、都市部センターとの交流、会員の生きがい対策、就業機会の確保に努めている。</p> <p>②暮らしと住まいのお手伝い！シルバーサポート事業 高齢者・障がい者世帯が住み慣れた地域や住まい（家）で安心して日常生活が送れるよう市の地域包括支援センター及び各地域市民センターと連携して1時間未満の軽易な家事援助サービスを実施している。</p> <p>③生涯現役！生涯学習！生き生き生活支援事業 会員が永年培ってきた豊富な知識・経験、技能、特技を活かし講師やスタッフとして就業、ワークプラザ等を利用してパソコン教室や障子・襖の張替え教室、布ぞうり製作教室、華道書道教室、指編み教室、体操教室など利用者のニーズに対応したカルチャー教育事業を展開している。</p> <p>2) 自治体連携事業</p> <p>①市内公共施設の受付清掃等管理業務 ②駅前駐輪場の管理 ③公園等の清掃、剪定、除草、街路樹の剪定 ④クリーンパトロール他</p> <p>3) その他の自治体連携 市の開催する生涯学習のイベントに共催にて参加、指定管理施設6施設の運営管理。</p>
5	守口市シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①農業支援・野菜苗販売・社会参加・世代間交流 ②子育てママのスキルアップ事業と寺子屋事業 ③子育て相談事業とワイワイ教室と出前教室 ④公園環境整備とシルバーレンジャー事業</p>

6	伊丹市シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①緑のリサイクル事業 剪定屑を再利用しチップ化(土壌改良剤)し、ゴミの減量、温暖化防止、資源化に寄与。</p> <p>②シルバー地域農業応援事業 会員が地元で栽培収穫した野菜を販売し、地産地消を推進する。会員の農業活動を通じて地域の農業活性化に繋げる。</p> <p>③シルバーから広める伊丹の魅力・深める伊丹の歴史事業 講座等の開催により伊丹の魅力を発信する。同時に伊丹ウォーキングを絡めて伊丹の史跡・文化財等を紹介。</p> <p>2) 自治体連携事業</p> <p>①サンシティホール管理 ②自転車駐車場管理 ③市役所内駐車場管理</p> <p>3) その他の自治体連携</p> <p>①市のイベント事業に併せてシルバーのブースを確保してもらい販売やPRを実施 ②特定随意契約に係る案件など各担当部局への折衝・通知等の徹底</p>
7	府中町シルバー人材センター	<p>1) 企画提案事業</p> <p>①よい子の森（野外での子ども一時預かり） デンマークやドイツで積極的に実施されている「体験型保育」を取り入れた屋外型のシルバーママサービス事業「よいこの森」を実施。 単に公園に行って保育を行うのではなく、四季折々のテーマを踏まえた架空のストーリーをたどりながら、子供たちと楽しく府中町内の公園を訪れることで子供の一時預かりを行っている。実施は毎月一回で、対象年齢は1歳～未就学児童を対象にしている。</p> <p>②くすのきプラザコミュニティサロンの企画運営 「椿庵」のある多目的施設くすのきプラザでコミュニティプラザの運営を行っている。内容としては「地産地消の軽食の提供」「府中町公衆衛生協議会への</p>

		<p>廃油せっけんの材料の提供」「マイ箸運動の推進」「町民参加事業ハッピーボックスの推進」「椿庵でのワンデイシェフ体験」「児童の野外一時預かり（よいこの森）への食育協力」「ホームページへのオリジナルメニューの掲載」などである。</p> <p>③メンズサロン（男性専用介護予防事業）</p> <p>いままで生きがい型のデイサービスの主流は女性好みの企画が多く、男性の利用が少なかったため、男性利用者を対象にした生きがい型の事業に取り組むこととしたもの。支援通所事業としてメンズサロンを開催。内容は「血压チェック」「マシントレーニング」「健康麻雀」「カードゲーム」「地域の話」などである。</p> <p>2) その他の連携</p> <p>①町内公共施設の管理・清掃 ②駐輪場の管理 ③町内公園・遊園の清掃・剪定など維持管理・受付事務 ④高齢者生きがい活動支援通所事業 ⑤高齢者筋力向上トレーニング事業 ⑥高齢者軽度生活援助事業</p>
--	--	---

2 利用勧奨の取り組みに関する工夫

番号	名 称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<p>①お客様担当（就業開拓創出員）を2名配置 市内の民間事業所の訪問活動を中心とし、新規業務の受注をめざす。</p> <p>②理事の発注者訪問活動 既存発注先の訪問活動を行い（年3回）、発注先との良好な関係を構築。</p> <p>③会員によるチラシのポスティングやポスター掲示 “ちょこっと手助けサービス”グループが、4つの地域に分かれ、会員個人によ</p>

		<p>るポスティングや地域の会員が集まって地域を決めてポスティングを実施。会員の協力により、家庭向け仕事内容のポスターを会員自宅前やマンションや町会の掲示板に掲示。</p> <p>④草加市広報への掲載 “ちょこっと手助けサービス”等について、草加市広報へ掲載。</p>
2	福井市シルバー人材センター	<p>①会員地区組織によるチラシの配布</p> <p>②除草、植木剪定従事会員による就業先近辺へのチラシの配布</p> <p>③就業開拓員、業務推進員による事業所訪問</p>
3	上田地域シルバー人材センター	<p>①地域に根ざし、隣近所と連携した就業を開拓すべく、役員・会員が一丸となって「会員一人一開拓運動」を推進、一般家庭の就業実績の大幅アップを実現。</p> <p>②各地区でのイベント開催時にビデオ紹介、パンフ、ノベルティ配付などでシルバーの知名度向上や就業案内を実施。</p> <p>③顧客へ毎年カレンダーを配付し、日頃のご愛顧を感謝するとともに利用促進の働きかけを実施。</p> <p>④お客様への満足度調査を実施、就業への反応を把握するとともに更なるご愛顧をお願いしている。</p>
4	甲賀市シルバー人材センター	<p>①雇用就業機会確保推進員を活用し、シニアの方を対象にハローワーク窓口で相談業務やシルバー人材センターセミナーを実施。</p> <p>②年2回（8月、1月）に市内全戸に配布する広報紙「シルバーこうか」、毎月発行の会報紙「シルバーだより」を活用。</p> <p>③市内各地域で開催されるイベント等への参加や各マスコミ等への取材協力をすすめる中で活動内容を啓発周知。</p>
5	守口市シルバー人材センター	<p>① 就業訪問員を設置し、家庭を中心に仕事の出来栄の聞き取り調査をする際に、他の仕事についてもPR。</p> <p>② 理事による事業所訪問の実施。</p> <p>③ 各種チラシ及び「センター便り」を作成・送付し、広報している。</p> <p>④10月に「シルバーフェア」を開催。市広報誌に開催案内と、チラシ（裏面はシ</p>

		ルバーの PR) を町会回覧板で回付。
6	伊丹市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①中心市街地での街頭活動 ②FMいたみによる広報 ③シルバーフェスティバルやシルバー文化作品展開催による PR ④地域班を中心とした清掃奉仕活動による PR ⑤植木剪定・除草作業について、翌年分の事前予約はがきを送付 ⑥就業開拓員等による商工会議所企業リスト等からの企業訪問や家庭訪問をするなど新規就業機会の開拓、PR を実施 ⑦チラシの配布 ⑧ホームページでの情報提供
7	府中町シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①広報紙「安芸府中シルバーだより」を年 1 回発行し、町内全戸に配布。 ②社会福祉協議会、町内会連合会に出席して入会促進や就業開拓を実施 ③企業訪問により就業開拓 ④会員による入会勧誘・リピーター獲得のため声掛け

3 会員への仕事の配分方法の工夫

番号	名 称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①就業交代制度 平成 24 年度実績：交代時期（10 月及び 4 月）計 52 箇所 62 名の就業交代を実施。 ②しごと情報の発行 平成 24 年度実績：年間 19 回発行（毎月 2 回発行。発行日は 10 日と 25 日）。 ③就業期限の設定に関する基準において、同一職種、同一就業先に年間を通じて就業する会員は原則として 3 年を限度として他の会員と交代。

2	福井市シルバー人材センター	<p>①就業交代制(公共部門)の実施 ②未就業会員への優先的就業提供</p>
3	上田地域シルバー人材センター	<p>①一人でも多くの会員に就業してもらうため、未就業会員へ優先的に声をかけている。 ②一人一開拓運動では自分のできる仕事を開拓することを勧めている。 ③適正就業の徹底と就業基準による就業年数遵守を励行している。 ④新入会員を中心とした就業紹介・瞬時斡旋のため、携帯メールを活用した就業情報提供を行っている。 ⑤シルバーだよりの掲載やテレフォンサービスでも就業情報提供を行っている。 従来のパンフレットや、電話だけでなく、携帯の一斉メールも導入が図られている。 ★創意工夫されている点 発注者から仕事を受注した場合、予め携帯メールを登録している会員に一斉メールを送信する仕組みを導入した。これにより、事務の効率化、就業機会提供の公平性、時間の効率化などが図られている。 ☞事例3「上田地域シルバー人材センターの取組」(携帯メールを活用した連絡体制づくり)参照</p>
4	甲賀市シルバー人材センター	<p>①出来る限り公平な就業機会が得られるよう毎月発行する会報紙「シルバーだより」にて就業情報を掲載。 ②適正就業基準を設けてローテーション就業、長期就業の是正を図るよう推進。</p>
5	守口市シルバー人材センター	<p>①毎月、理事が相談員となり、就業相談会を実施し、会員の詳細な希望等を聴き取り、就業提供に役立てている。 ②「公開受注簿」で、受注状況を常に公開している。事務局便りで、就業会員を募集している。</p>

6	伊丹市シルバー人材センター	①入会時の希望職種に基づき就業相談を実施し、適する仕事があれば紹介 ②月曜日から金曜日まで毎日就業相談を実施し、来館者に募集中の業務を斡旋
7	府中町シルバー人材センター	①入会説明会終了後、職員が個人面談を実施。これまでの職歴、特技・趣味、入会后希望する職種、受講したい研修、体験就業の希望の有無を確認。 ②就業体験希望者には管理、介護、子育て、清掃、など就業体験を通して、できる限り早期に何かの就業に就けるように努めている。 ③これまで就業している会員にはワークシェアリングの理解を深め、出来得る限りローテーション就業を推進している。

4-1 その他参考（会員の能力向上のための講習・研修会の開催状況）

番号	名称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<p>①新会員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 12回開催 290名参加 <p>②リーダー合同研修会：1回 211名参加</p> <p>③しごと体験会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 網戸張替体験会：2回 20名参加 ・ 植木剪定体験会：1回 5名参加 ・ 自転車組立・修理体験会：2回 7名参加 ・ 襖障子張替体験会：2回 13名参加 ・ 換気扇クリーニング体験会：1回 12名参加 ・ 刈払機取扱体験会：1回開催 12名参加 <p>④就業分野ごとの会員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館管理パソコン講習：2回 11名参加 ・ コミュニケーション講習：2回 102名参加 ・ 普通救命講習（AED講習）：3回 54名参加 ・ 植木剪定スキルアップ研修：1回 16名参加

		<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょこっと手助けサービス」会員研修会：1回 82名参加 (以上、平成24年度実績)
2	福井市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉・家事援助サービス初級講習 ②軽度生活支援事業講習会 ③クリーンサービス研修 ④料理講習、筆耕講習 ⑤襖・障子張り講習 ⑥宛名書ソフト講習 ⑦門松作り講習 ⑧植木剪定講習 ⑨就業ヘルパー研修
3	上田地域シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①後継者育成・技能向上のため、草刈り講習会等を実施。25年度はチェーンソー講習も計画している。 ②「女性班きずな」ではガーデニング・フラワーアレンジメント、料理講習会を開催している。
4	甲賀市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①交通安全講習会 ②草刈機取扱講習会 ③人権研修会 ④役員研修会 ⑤フラワーアレンジメント講習会 ⑥美容講習会 ⑦緑地管理講習会
5	守口市シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ①農業支援研修(稲作・野菜苗) ②子育て支援員研修 ③屋外器具の取扱講習会 ④訪問介護員研修

6	伊丹市シルバー人材センター	①刈払い機等屋外器具取扱講習会 ②企画提案に関する講習会 ③屋外器具の取扱講習会 ④交通安全講習会 ⑤救急救命講習会 ⑥接遇研修会
7	府中町シルバー人材センター	①よい子の森（野外での子ども一時預かり）フォーラム ②介護予防講座 ③剪定講習会 ④高齢者の健康講習会

4-2 その他参考（シルバー人材センターの活動状況）

番号	名称	工夫内容
1	草加市シルバー人材センター	<p>① シルバー人材センターまつりの開催 毎年、シルバー普及啓発月間（10月）に「シルバー人材センターまつり」を開催、平成25年度で14回目。会員、市民、のび～すく利用の親子等、大勢がつどい、会員同士の親睦交流や多くの市民や子どもたちとの交流を通して、センターのPRを積極的に実施。会員（仕事別グループやサークル）による模擬店（日本蕎麦・やきそば・やきとりなど）を出店し、ステージではのび～すく親子によるダンスやコーラスサークルによる混声合唱など、様々な楽しい催しである。また、まつりの収益は草加市被災者支援金に寄付。</p> <p>② ゴールド会員制度 毎月の定例会や季節の催し（観桜会・交流会等）を実施し、高齢会員の交流活動を積極的に実施。</p> <p>③ チューリップいっぱい活動 ボランティアとして、保育園で子どもたちとチューリップの球根植付や水やりなどを実施。世代間交流の場として、会員も子どもたちも楽しく参加してい</p>

		<p>る。</p> <p>④シルバーボランティア農園 シルバーボランティア農園で、保育園児とじゃがいもの種芋植えや収穫。世代間交流の場として、会員も子どもたちも楽しく参加。さらに、最近土いじり（農業）は貴重な体験の場として、保護者からも評価が高い。</p> <p>⑤ 女性活躍推進委員会 男女問わず参加できる“シルバー説明会”の他に、“女性のための説明会”を開催。“女性のための説明会”では、通常の説明だけでなく、折り紙講座などのプラスアルファの楽しい企画も実施。</p>
2	福井市シルバー人材センター	<p>①ホワイトカラー層退職者の対策としては、派遣事業の拡大。</p> <p>②未就業会員対策として入会后半年間未就業の会員に対して面談会を毎月実施し、希望職種等を確認。</p> <p>③顧客満足度調査を実施。</p>
3	上田地域シルバー人材センター	<p>新しい仕事の情報を配信するのに電話サービスとして携帯で会員に送信している。このサービスによって、緊急の仕事の受注にも成功している。例えば、草むしりの仕事では、15人から20人のグループで、2～3日で仕上げるが、グループ内での人間関係にトラブルが発生したときは、グループの組み替えなどを行うことで調整している。</p>
4	甲賀市シルバー人材センター	<p>選挙関連（立会人、公報封入発送）、統計調査など公共関連の事務系職種で市の職員以外でも出来る仕事は出来る限りセンターでの仕事として発注いただくよう依頼している。</p>
5	守口市シルバー人材センター	<p>会員の高齢化が進み、年齢に関係なく能力で就業できる場の確保に取り組み始めている。「マンション清掃班」「農業支援班」を発足し、高齢会員の就業機会を広めている。</p>
6	伊丹市シルバー人材センター	<p>① 市のイベント事業に併せてシルバーのブースを確保し販売やPRを実施。</p> <p>② 特定随意契約に係る案件など各担当部局への折衝・通知等を徹底している。</p>
7	府中町シルバー人材センター	<p>会員増に向けて、新規の会員に対しては、初めての仕事に就くことの不安を取り除くために以下のような工夫を行っている。</p>

	<p>① 最初の入会説明会の時に良く説明をして仕事の内容につき理解を得る。</p> <p>② 講習会では先輩が後輩に親切・丁寧に教える。</p> <p>③ 入会当初は簡単な仕事を受け持ってもらって徐々に仕事に馴染めるように配慮。</p> <p>④ 元ホワイトカラーの方々には新規事業の取り組みとして、例えば「介護予防事業、子育て支援事業」等の事業の立ち上げなどにホワイトカラー時のノウハウを活かしてもらおうなどの工夫を行っている。</p> <p>⑤ 年会費は 3,000 円であるが、必ず仕事に就けることで会費分の還元而努力している。</p> <p>⑥ シルバーの職場では、現役時代の職場での地位や立場が逆転することも起こりえるケースもある。これらの人間関係の諸問題を解決するため、互助会、同好会などで融和を図っている。</p> <p>⑦ 食堂や介護の仕事では安全衛生についての規約等があり、守らなければならないルールがある。そのため、厳しく注意することもあり、人間関係のトラブルとなることもある。そうしたトラブルに対して最後はセンター事務局で対応することになるが、こうした事態にも公平に対処している。</p> <p>⑧ 会員の皆様に満足してもらえるように満足度調査を現在企画中。</p>
--	--

別添 2

シルバー人材センター関係者のご意見・ご要望等一覧表

本調査では、シルバー人材センターにおける取組み好事例を紹介する他、加入会員、発注者（顧客）およびセンター運営者の皆様からシルバー人材センター事業運営にかかるヒアリングを実施したので、そのご意見（主たるもの）を以下に、紹介する。

番号	属性	関係者等のご意見・ご要望等
1	加入会員	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人と接することが好きなので水を得た魚のように喜んで働いている。（ふれあい喫茶「T庵」Nさん、F町） ➤ 「ありがとう」「おいしかった」という利用者の声が聞けることが嬉しい（ふれあい喫茶「T庵」Aさん、F町） ➤ お母さん達が買い物、お掃除や育児から解放されたいときお役にたてて、やり甲斐を感じます。（シルバーママサービス利用者、F町） ➤ シルバー農園では、最初はほうれん草の収穫に包丁を使う人もいたが、リーダーの指導で今はそのようなこともなくなった。（シルバー農園リーダーNさん、U地区） ➤ 「自分の家でも農業をやっているが、ここで新しい方法や技術を教えてもらって自分の畑でも応用することで本当に役に立っている。ここにきて良かったと思う。」（シルバー農園会員Sさん、U地区） ➤ 「退職後の第二の人生はシルバーのお陰で充実した日々となっている。」（会員Kさん、U地区） ➤ 子育て支援事業を「のびのび」などで担当しているが、お母さん方が自分で解決出来ない悩みを聞いてあげ、解消してあげている。F市は転勤族が多く、3～4年で変わる。しかし、赤ちゃん

		<p>が産まれた時など、近所に知っている人もいない中で、支援を行い大変喜ばれている。小さな子供を抱えた若い母親への支援として、保育園への送迎、掃除、小さな子供の預かりなどがある。地元の方も多いが、ここでママ友を作り、広場で悩みを話せることで救われる母親も多い。安心して預けられることもあって人気が高く、この仕事にやり甲斐を感じている。(会員 J さん、F 市 S C)</p> <p>➤子育て支援事業「えくぼ」を主に担当しており、週2～3回勤務している。ここには保育園にはない良さがあり、このことは口コミで広がっている。自分はもともと保育士であるが、自分の経験が生かされており、いい仕事を提供して頂いてありがたい。預かった子供がミルクを飲んでくれ、笑顔を見るとやって良かったと感じる。(会員 H さん、F 市 S C)</p> <p>➤子育て支援事業を「日だまりの家」などで担当しているが、毎日がすごく楽しい。ここはリピーターが多いことが特徴であり、お子さんの成長が見れて嬉しい。お母さん方が感謝してくれていることが、非常に良いやり甲斐となっている。いい仕事をさせて頂いて本当に嬉しい。(会員 H さん、J さん、F 市 S C)</p> <p>➤ワークプラザで週一回食堂を担当しており、20食を一人で作っている。若い人と年寄りの人との嗜好の違いがあり、献立作りに悩んでいる。きれいに完食してもらったとき、大いにやり甲斐を感じる。(会員 Y さん、F 市 S C)</p> <p>➤ヘルパーの資格があり、介護を担当しているが、時には救急車を呼んだり、倒れている利用者を助けたり、大変な場面もあるが、利用者の方が、「おかげさまで歩けなかったのが歩けるようになりました。ありがとうございます」と感謝の声を聞くとこの仕事をやって良かったと思います。(会員 T さん、F 市 S C)</p> <p>➤病院で介護の仕事をやっていたが、ヘルパー3級、その後2級の資格をとり、介護職に就いている。7人を受け持っているが、この仕事のコツは被介護人とウマが合うかどうかである。ウマが合って頼りにされると嬉しくこの仕事をやって良かったと思う。(会員 S さん、F 市 S C)</p> <p>➤M保育園で保育の仕事させて頂いています。園児たちと大切な時間を共に過ごせることは大変な部分もあるけれど、やり甲斐とパワーもいっぱいもらっています。(M保育園、I 市 S C))</p> <p>➤「楽しい」「元気をもらえる」「やり甲斐がある」「子供から教えられることも多い」(M保育園)</p> <p>➤シルバーにいるから出会い、人とのつながりが保てる。素晴らしいところ。(M保育園、I 市 S C))</p> <p>➤感謝されることで仕事にはりができ、生きがいになっている。(M保育園、I 市 S C))</p>
--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 仕事をすることで生き生きとさせてもらっている。(M保育園、I市SC) ▶ 何もしない毎日は退屈、シルバーに入会し仲間と共に働くことで元気に頑張れる。(M保育園、I市SC) ▶ 仕事ができる喜びを実感できる。(M保育園、I市SC) ▶ 仕事をすることで規則正しい生活ができ体調が良くなった。(M保育園、I市SC) ▶ 訪問介護サービスを担当している。調理もやるが、訪問先で限られた食材の中で行う。短時間で掃除もこなしている。若い人は買い物に行ってから調理をやる人が多いが、シルバー人材センターから来る人は皆ベテラン主婦が多く、白菜とキャベツだけでも3～4品作れる。介護される方も、なにより食事が楽しみなので、食事作りが大事である。利用者の意向に沿って役立つように頑張っています。(会員Sさん、M市SC) ▶ 障害者支援サービスを担当している。いわゆるスクールヘルパーである。行事などがある時で、手が足りない時にアシストする。登校・下校時の移動支援を行っている。社会参加の喜びがあります。(会員Nさん、M市SC) ▶ ランドリーサービスを担当しています。ランドリーサービスは近くのコインランドリーを使っている。家族が遠く離れている状況で、利用者は孤立しているため、コミュニケーションをとりながらやっています。また、出来るだけ本人の意見を聞きながらやっています。利用者の「待っていたよ。」の一言が支えとなっている。(会員Mさん、M市SC) ▶ ちょっと手助けサービスで家事援助を担当しています。要支援1の介護度で、軽度の認知症の方の話相手になっています。週一回のサービスで3人を受け持っています。やすらぎ支援事業も担当しています。こちらは家族がいても、日中はひとりなので、話相手になっています。本人は勿論、家族の方にも喜んでもらっています。(会員Kさん、S市SC) ▶ ちょっと手助けサービスで、知的障害のある方の話相手になっています。また、高齢者の方のお買い物やゴミ出しも行っています。利用者の皆さんが困っているときに手助けしてあげることで「ありがとう」と言われることが生きがいです。(会員Sさん、S市SC) ▶ 「親子のひろば のび～すく」で働いています。子育てに疲れたときや、一緒に子育てする仲間が欲しいとき、友達と遊びたい子供の仲間がほしいとき、など小さな子供とお父さんお母さんなど、みんなが子供を遊ばせながら、出会った人たちとほっと一息つけるような場所です。ここでは子供の成長が見られることで、とてもやり甲斐があります。(会員HさんS市SC) ▶ シルバー堆肥コンポを使ってかんぴょう栽培を開始して5年目になるが、本年から研修会への
--	--

		<p>参加やコーディネータのアドバイスにより、品質の良いかんぴょうが、生産できるようになり、喜んでいる。来年は今年の反省点を班で検証して取り組みたい。(会員Sさん、K市SC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ シルバーM班でニンニク・かんぴょうを栽培した。安全、安心な栽培の仕方を研修会で学べたことが非常に役だった。来年も消費者に喜んでもらえる品物を作っていきたい。(会員Iさん、K市SC) ▶ 各種のイベントや公民館活動で、布ぞうきん作成や凧作りの講師をシルバー会員の仲間5、6人でしています。準備をして講習会に臨み、受講者の殆どの方が熱心に学ばれていますが、どうしてもその場限りとなってしまう、学んだ成果を地域で生かせるようになったらと考えます。(会員Yさん、K市SC)
2	利用者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 安くておいしく、対応も親切で良く利用しています。(ふれあい喫茶「椿庵」利用者、F町) ▶ 利用しやすい金額です。(シルバーママサービス利用者、F町) ▶ もっと沢山の方に知ってもらい、利用者が増えると子供達も楽しいと思います。(シルバーママサービス利用者、F町) ▶ 親子ともに楽しめるように工夫されていると思いました。(シルバーママサービス利用者、F町) ▶ リンゴ園に人材を送り出しいただき心から感謝しています。皆さん明るく前向きな姿勢そして最高のチームワークでがんばっていただいたおかげでわずか3日間で終わらせることができました。(利用者Xさん、U地区) ▶ お客様の「美味しかった」の一言は何よりの励みです。(農園芸グループ) ▶ 健康の秘訣はとにかく食べることだが、シルバー人材センターの訪問介護員の方は調理がうまく本当に感謝しています。(M市) ▶ 現在3名のヘルパーさんが交代で面倒を見ているが、いずれの方にも「大変感謝している」との声を聞くことが出来た。(利用者Sさん、M市SC) ▶ ここでは利用者の母親世代の人たちが、面倒を見てくれるため、子供の相談とか、パパとのかかわり方など、幼稚園では相談出来ない様々なことが相談出来る。また、紙芝居や、昔ながらのわらべ歌など、シルバーの会員さんが一生懸命で、研究熱心であり、常に勉強する姿勢が伺

		<p>えてとても尊敬しています。(利用者Aさん、S市SC)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 会員所有地や耕作放棄になりつつある農地など、生産資源の有効活用が図られている。また、全国的なシルバーネットワークを活用した販売経路の開拓は安心な取引に発展する期待が持てる。(利用者Fさん、K市SC) ▶ 過剰農薬散布を気にせず、安心して食べられ、また規格サイズを気にせず、育成した新鮮で美味しい野菜を作れるのは、シルバー人材センターの会員であればこそできる事業だと思います。健康が何よりと感じている会員の就業の場が広がり、特産品が食べられるという特典もあるいい事業だと思います。(利用者Tさん、K市SC) ▶ 地域の特産品である「かんぴょう」を作り、販売するというまさに地産地消を実施されていて大変有意義なことと思います。(利用者Sさん、K市SC)
3	センター 運営者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 事業仕分けで事務局の経費が1 / 3カットされ困っている。県内 16,000 名、当センターでも 347 名の会員の支援をするのは全て事務局であり、ここが弱体化するとシルバー人材センターの仕事を支えることは難しい。これについては会員の活用も考えられるが、既存の会員のうちから選任することに対する不公平感や、会員として勤務させる場合の報酬等の関係もあり難しい。(F町SC) ▶ 平成22、23年度2年間で補助金は1,380万円削減され、事業実績も低下し、800万円の赤字決算となった。このため自主財源を見直す必要性に迫られている。運営費の削減1,100万円、平成24年度会費を1,700円から3,500円に引き上げせざるを得ず、平成25年度事務費も8%から10%に値上げとなった。就業開拓努力も実施しているが、経営健全化のためには、削減された補助金の復活が必要であり、ご検討願いたい。また、広域加算金が切られるときは、このようなやりかたでやれというデザインの提示が望まれる。(U地区) ▶ 社会保障制度改革国民会議は介護の「要支援」を介護制度から切り離し、市町村の裁量で行う事業へ移行する提案がなされているが、そうなった場合はこれまでの事業が継続できるか不安である。よって「要支援1,2」については従来どおりの取り扱いとして欲しい。(F市SC) ▶ 一般労働者派遣事業は、派遣契約期間は一年間(最大3年間)になっているが、このため多くの就業機会を失う状況となっている。3年で終わるのではなく、延長出来るようなものとして欲しい。(F市SC、I市SC) ▶ 事業仕分けで削除された補助金を復活して欲しい。(I市SC)

		<p>▶最近は隣近所が疎遠になったように思われる。高齢者の孤立化だけではなく、子育てにおいても相談出来る人がおらず、このように困っている人たちを繋ぐ地域のネットワークが必要である。行政はこのネットワークの形成に関して、もっと力を入れるべきで、シルバー人材センターも、既存の諸組織との連携を密にすることで、地域社会のネットワークの再編を図ることが必要と思う。(S市SC)</p> <p>▶高齢化が急速に進行する中、シルバー人材センターは今後どうあるべきかの方針を国としてもっとはっきりと打ち出すべきである。そうしないとシルバー人材センターがどの方向に進もうとしているかがはっきりせず、明確な方針が打ち出せない。(K市SC)</p>
--	--	--

注) ご意見等は、主たる意見を記載。